

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第62回）

日時：2018年4月20日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・上野浩道・内藤俊史・齋藤智哉 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

欠席：青柳路子兼任研究員

内容：（1）齋藤智哉氏の紀要原稿発表

◆第1章の第2節「現代社会と青年」。全体の構成は3月以降修正して、以下のようになった

- （1）経済的自立をめぐる青年の物語の終焉
- （2）高度経済成長期以降の青年をめぐる社会状況
- （3）先行世代の喪失による青年のアイデンティティの揺らぎ：1970年代の青年
- （4）消費の主体としての「若者」の登場：1980年代の青年
- （5）青年の自立とコミュニケーション：1990年以降の青年
- （6）青年の自立を再考する—「成熟の幻想」を超えるために—

（2）全員で原稿に関して討議

- ・コミュニティ（共同体）の中での自立、関係のつくり方、自治みたいなことに注目していく必要があるだろう（齋藤）
- ・消費文化の最底辺から生まれてくる文化、孤立、自立する術もない若者のことなどに着目（田嶋）
- ・ゆるいつながりにすら入れない青年のこと、もっと書いては？ 1ページの高校進学率の統計の数字、再確認してほしい（上野）

（3）今後の進行予定

- ・齋藤氏は6月に第4章提出予定

・次回研究会は、5月11日（金）14:00～。青柳氏原稿提出予定